

あらまし

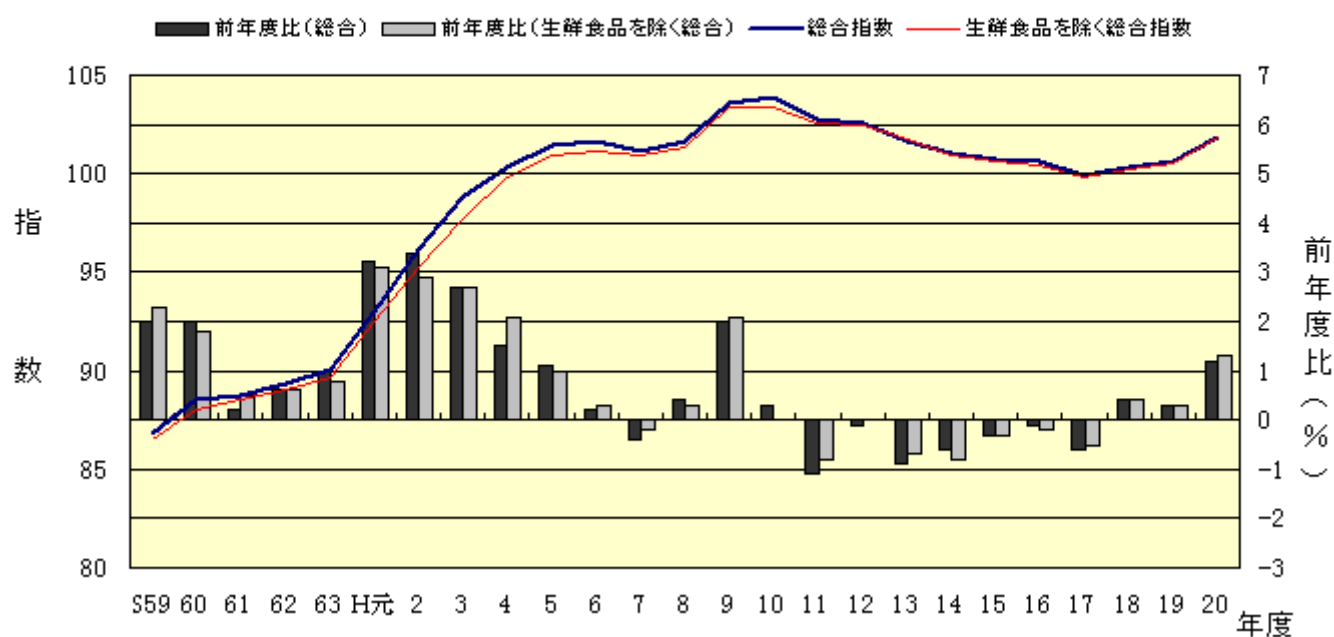
平成 20 年度平均の名古屋市消費者物価指数(確報値)は、平成 17 年を 100 とした**総合指数**で 101.8 となり、前年度に比べ 1.2%上昇しました。

前年度からの主な動きをみると、外食、菓子類等の値上がりにより食料が、電気代、ガス代等の値上がりにより光熱・水道がそれぞれ上昇しました。

なお、**生鮮食品を除く総合指数**は 101.8 となり、前年度に比べ 1.3%上昇しました。

図1 名古屋市消費者物価指数の推移

平成17年=100



前年度からの動き

- **食料**は 103.9 となり、前年度に比べ 3.0%の上昇

生鮮魚介は 1.3%の下落 <値下がり>まぐろ、えびなど

生鮮野菜は 0.8%の下落 <値下がり>たまねぎ、キャベツなど

生鮮果物は 4.6%の下落 <値下がり>りんご(ふじ)、オレンジなど

外食は 2.8%の上昇 <値上がり>ビール(外食)、すし(回転ずし)など

菓子類は 7.5%の上昇 <値上がり>ケーキ、チョコレートなど

穀類は 6.2%の上昇 <値上がり>食パン、即席めんなど

調理食品は 3.9%の上昇 <値上がり>うなぎ蒲焼きなど

肉類は 2.8%の上昇 <値上がり>豚肉(もも肉)など

乳卵類は 7.6%の上昇 <値上がり>牛乳(店頭売り)、鶏卵など

- **光熱・水道**は 109.5 となり、前年度に比べ 5.1%の上昇

電気代は 6.7%の上昇 <値上がり>電気代

ガス代は 5.6%の上昇 <値上がり>都市ガス代など

他の光熱は 11.7%の上昇 <値上がり>灯油

- **教養娯楽**は 96.6 となり、前年度に比べ 0.3%の下落

教養娯楽用耐久財は 19.0%の下落 <値下がり>パソコン(ノート型)、テレビ(薄型)など

教養娯楽サービスは 1.3%の上昇 <値上がり>外国パック旅行など

- **諸雑費**は 102.7 となり、前年度に比べ 1.1%の上昇

他の諸雑費は 1.1%の上昇 <値上がり> 保育所保育料など

表 1 10大費目の前年度比及び寄与度

	前年度比(%)		寄与度	
	19年度	20年度	19年度	20年度
総合	0.3	1.2	0.30	1.20
生鮮食品を除く総合	0.3	1.3	0.29	1.24
食料	0.5	3.0	0.13	0.81
生鮮食品	△ 0.2	△ 1.9	△ 0.01	△ 0.09
住居	0.0	0.1	0.00	0.02
光熱・水道	1.4	5.1	0.09	0.35
家具・家事用品	△ 1.1	0.2	△ 0.03	0.01
被服及び履物	0.5	0.3	0.02	0.01
保健医療	0.8	△ 1.1	0.03	△ 0.05
交通・通信	0.2	0.1	0.03	0.01
教育	0.9	0.5	0.04	0.02
教養娯楽	△ 0.9	△ 0.3	△ 0.10	△ 0.03
諸雑費	0.9	1.1	0.05	0.07

利用上の注意

1 年度平均確報値について

この年度平均確報値は、平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月の各月の指数値を用いて、総務省統計局が集計(財・サービス分類指数は除く)したものです。

2 指数について

1. 指数の基準時及びウエイトの算定期間は、平成 17 年の 1 年間です。
2. 指数の算式は、基準時加重相対法算式(ラスパイレズ型)によります。
3. その他詳しくは総務省統計局公表資料をご覧ください。